

ブルックリン横丁 (1945)

A TREE GROWS IN BROOKLYN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 128分

初公開日 1947/06/17

公開情報 セントラル

【解説】

ブロードウェイからハリウッドに迎えられたカザンの監督第一作で、劇作家ベティ・スミスの自伝的長篇小説の映画化。フランシーはブルックリンの貧しいアパート育ち。父（J・ダン）は“唄う”ウェイターをしているが、金が入るとすぐに飲み代に使い、母（D・マクガイア）の苦労は絶えない。が、フランシーと弟は貧乏暮らしにも誇らしく陽気な父を好いていた。父はまた詩人でもあり、裏庭にただ一本生えた樹が切り倒されたのを嘆く娘に、コンクリの下に残った根からまた若い樹が伸びるだろうと慰める。そんな父が彼女の教育費用のため仕事を探し寒い中奔走し、拳銃酒を飲んで倒れ、警察官マクシェーンに病院に運ばれるが、妻の懐妊を喜びつつも死んでしまう。悲しみに沈む一家だったが、赤ん坊の誕生やマクシェーンの好意に励まされ、母は不仲だった妹とも和解し、彼の求婚を受け入れる。二人の子供の卒業式に彼らは贅沢この上ないアイスクリームを作ってやるのだった……。聡明な少女フランシーのP・A・ガーナーを初め、役者たちは驚くべき細やかな演技で暖かい雰囲気醸す。得にダンの父親は素晴らしい。弟の興ずる悪戯や、完璧に再現された20年代の風俗がノスタルジーをかき立てる。

【クレジット】

監督	エリア・カザン	Elia Kazan
製作	ルイス・D・ライトン	Louis D. Lighton
原作	ベティ・スミス	
脚本	テス・スレシンジャー	Tess Slesinger
	フランク・デイヴィス	Frank Davis
撮影	レオン・シャムロイ	Leon Shamroy
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
助監督	ニコラス・レイ	Nicholas Ray
出演	ペギー・アン・ガーナー	Peggy Ann Garner
	ジェームズ・ダン	James Dunn
	ドロシー・マクガイア	Dorothy McGuire
	ジョーン・ブロンデル	Joan Blondell
	ロイド・ノーラン	Lloyd Nolan
	テッド・ドナルドソン	Ted Donaldson
	ジェームズ・グリーソン	James Gleason
	ルース・ネルソン	Ruth Nelson
	ジョン・アレクサンダー	John Alexander
	メエ・マーシュ	Mae Marsh